

7.2 単位認定と成績評価

単位

大学の授業は、すべて単位制を採用している。

単位制とは、授業科目を履修し、定期試験等に合格することによって、単位を修得していく制度である。

修得した単位の合計が一定の要件を満たした学生に対して卒業が認定される。

本学では、開講している授業科目の授業形態、授業方法、時間数等によって、それぞれ単位数が定められている。

単位数の算定方法

(1) 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間（予習・復習の時間を含む。）の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1日当たりの学修時間はおおよそ8時間

$$\begin{aligned}
 & \text{卒業要件} = 124 \text{ 単位の 場合} \\
 & 1 \text{ 単位} = 45 \text{ 時間 (授業 1 時間 + 予習・復習 2 時間)} \times 15 \text{ 回} \\
 & \text{前期又は後期で修得すべき単位} = 124 \text{ 単位} \div 4 \text{ 年間} \div 2 \text{ 期} = 16 \text{ 単位} \\
 & \text{前期又は後期の学修時間} = 16 \text{ 単位} \times 45 \text{ 時間} = 720 \text{ 時間} \\
 & 1 \text{ 週間の学修時間} = 720 \text{ 時間} \div 15 \text{ 回} = 48 \text{ 時間} \\
 & 1 \text{ 日の学修時間} = 48 \text{ 時間} \div 6 \text{ 日} = 8 \text{ 時間}
 \end{aligned}$$

(2) 本学では、授業の方法に応じ、授業に必要な予習・復習の時間（図書館等で行う）を考慮して下表の基準により単位数を定めている。

授業の形式	基 準	単位数	授業回数	備 考
	1時限90分で行われる授業は、制度上2時間で計算します。			
講 義 演 習	15時間又は30時間の授業をもって1単位。 (右記は、15時間で1単位の場合)	1単位	7～8	前期又は後期で7回～8回。
		2単位	15	前期又は後期で週1回。
		4単位	30	前期又は後期で週2回。 ----- 年間を通じて週1回。
実験・実習	30時間又は45時間の授業をもって1単位。	学部・学科によって、時間の計算方法が違うので、授業回数は異なります。		

単位認定の時期

履修した科目の単位認定は、原則として試験によって行われる。

但し、科目によっては、出席・レポート等によって行われる場合がある。

通年科目の場合は、年間（後期終了）の成績で単位が認定され、半期科目（前期終了または後期終了）の場合は、半年間の成績で単位が認定される。

原則として、いったん認定された単位の取り消しや成績評価の変更はできない。

成績評価と単位認定

<成績評価>

成績 評価	成績評価の内容	意 味	単位認定	Grade Point	備 考
秀	100点～90点	特に優れた成績	認 定	4点	
優	89点～80点	優れた成績	認 定	3点	
良	79点～70点	良好な成績	認 定	2点	
可	69点～60点	良好には達していないが合格 の成績	認 定	1点	
不可	59点～0点	合格と認められない成績	不認定	0点	不正行為をした場 合も含む。
放棄	受験資格はあったが、定期試験を受験しなかった 場合、あるいは授業の出席回数が不足していて、 受験資格がなかった場合		不認定	0点	